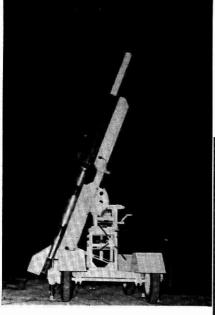


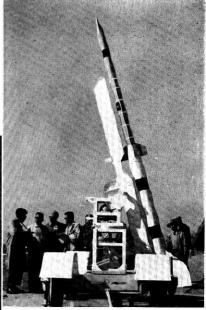
☆ カッパⅢ型メイン・ロケット

カッパ 型ロケットの実験



☆ カッパⅢ型3号機

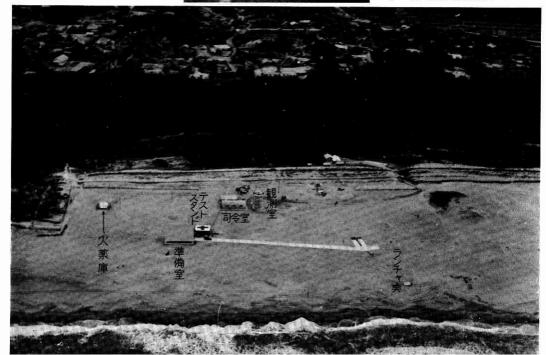
観測ロケットの開発研究は、カッパ III 型にいたって本格的な 2 段式ロケットに成長した。これは本年 4 月から 7 月にかけて秋田県道川海岸の東京大学秋田実験場で行われた、カッパ III 型ロケット飛しょう実験の記録である・



☆ カッパⅢ型1号機



→ 秋田実験場鳥瞰図





☆ 準備室 (左) とテストスタンド (右)



☆ 発射前の打合せ会議



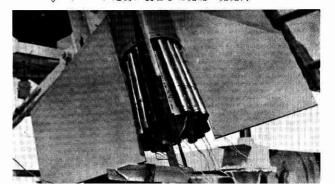
少 組立中のロケット



☆ ロケットをランチャに載せる作業



ひ ブースタ尾翼に装着した発煙・発光筒

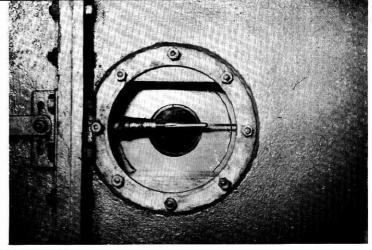


各種性能試験

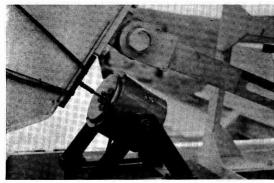
生研超音速風洞 (15cm×15cm, M=1.88) における 2 段ロケットの模型試験

少 振動試験

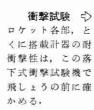
メインおよびブースタの振動特性を測定する.

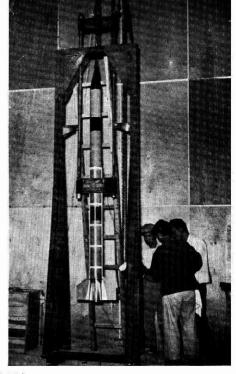




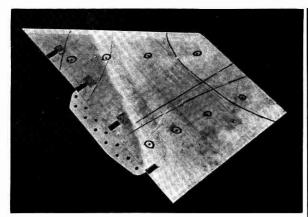


☆ 動振試験機の起振部 ランチャーを試験しているところ。





重量・重心測定



◆ 強度および振動試験を行ったブースタ尾翼





☆ 東京大学秋田実験場全景



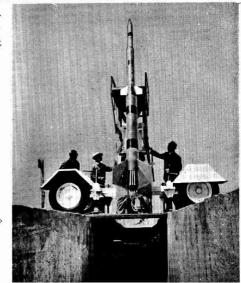
・ロケットを積んだランチャをいよいよ発射点へ運ぶところ
(夜間飛しょう実験)

つケット発射操作盤と通信設備 右がロケット発射操作盤、その左が各 種の通信連絡設備、飛しょうの全体司 令をこの部屋で行う・中央は全体の指揮をする三幹事(右より池田、糸川、 高木の各教授)

・ 飛しょう前には水素気球を上げて 風向・風速・視界を確かめる。



ウロケットを発射点へ運び、ランチャセットおよび点火・発光系の点検を行う。



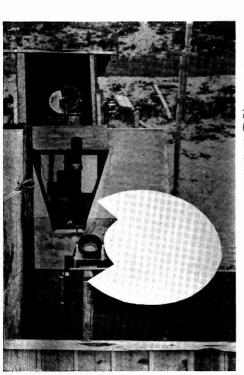
火焰よけの溝から望 ◇ んだ発射点



光学的観測装置

小観測点における固定カメラ 200mm レンズ付航空カメラ を正面から見たところ。

令 東観測点における追跡装置と固定カメラ たが 400mm 望遠レンズ付追跡装置 右が 200mm レンズ付航空カメラ



☆ 中央観測点における追跡装置と固定カメラ
群

上方より 100mm Topogon レンズ付航空 カメラ, 800mm 望遠レンズ付追跡装置お よび 385mm Aero-Ektar レンズ付カメラ

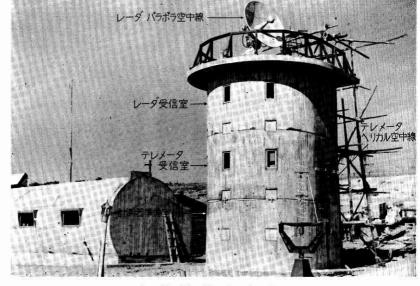
> 南観測点における固定カメラ群 ◇ 手前が 200mm Topogon レン ズ付カメラ, 向う側 250 mm Tessar レンズ付カメラ



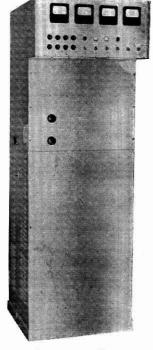




自動追跡レーダ装置

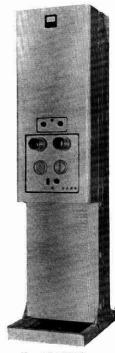


☆ 観 測 室 の 全 景

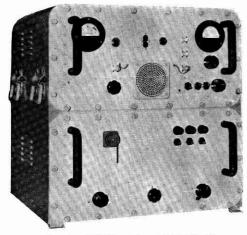


☆ 地上送信装置



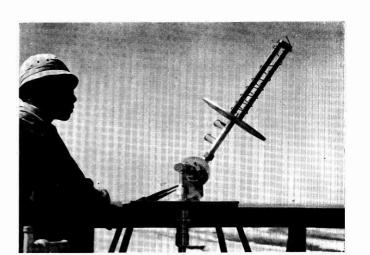


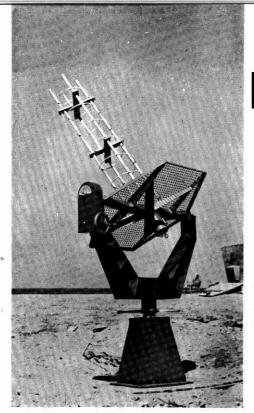
○ 測距装置



◆ 上:受信機,下:空中線制御器

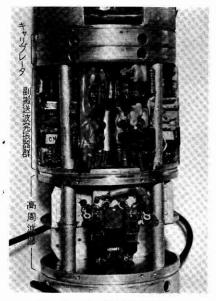
地上送信用へリカル空中線 ◇





◇ テレメータ信受用へリカル空中線

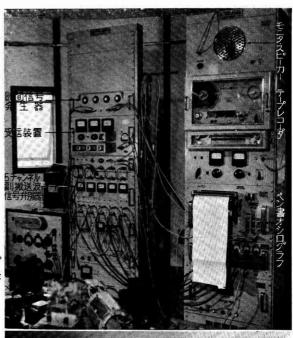
テレメータ送信機



☆ テレメータ送信機本体

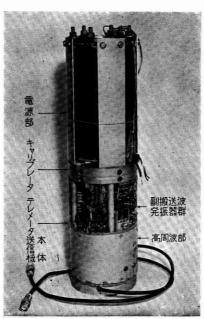
テレメータ 受 信 装 置

IIS-TM-3 型 ◇ テレメータ受信記録 装置





スピン計測 用受信装置

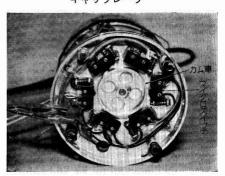


☆ テレメータ送信機

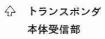
☆ テレメータ送信機

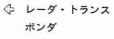
副搬送波発信器ユニット

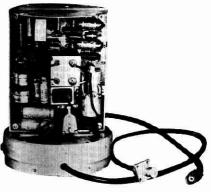




レーダ・トランスポンダ 木 体



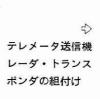


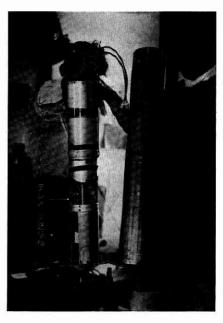


☆ トランスポンダ本体送信部



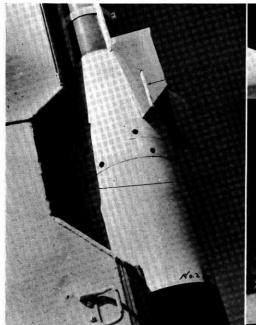
◇ 電源スイッチの投入





計 測器







◇ 加速度計